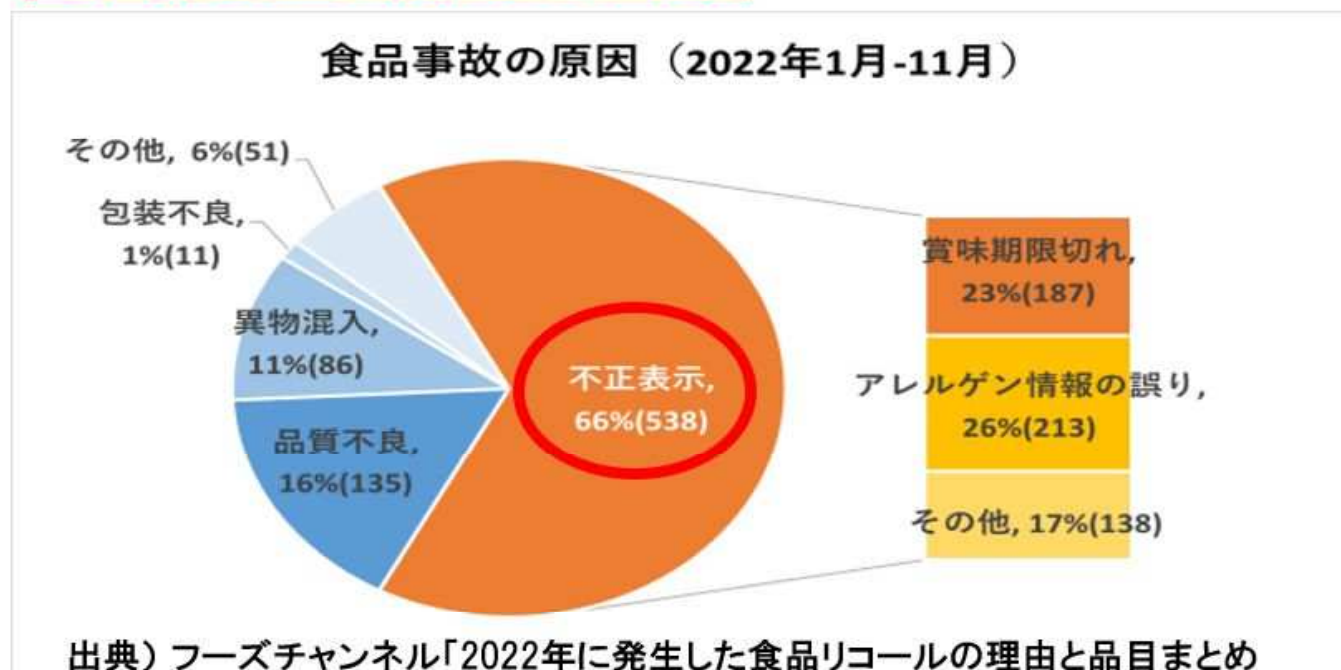


### 3)2022年度食品事故の原因

2022年度に厚生労働省に届出があった公開回収事案は821件であった。このうち不正表示が66%と半数以上を占めていた。



不正表示の主な内容を見ると、

- 1番 アレルギー情報の誤り(26%)
- 2番 賞味期限切れ(23%)
- 3番 その他の不正表示(17%)であった。

- ◆ 商品の品質不良による食品事故は、不正表示の次で、16%であった。
- ◆ 品質自体には問題がなかったに関わらず、不正表示による回収・廃棄は、食品ロスとなる。
- ◆ 適切な表示の作成、確認をすることは、食品ロスの削減を図る上でも非常に重要である。